

令和7年度 延岡市立北方学園 学校関係者評価書

段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
------	--------	-----------	------------	----------

あ	本年度の重点目標	学力の向上	心の教育の充実	健康・安全・体力の向上	夢・自信・誇りの育成
---	----------	-------	---------	-------------	------------

評価項目	評価規準	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント ○よい、●改善、◎意見、★質問
学力の向上	1 基礎・基本の徹底 ・諸調査の分析・活用 ・学びの確認・見届けの徹底 学びに向かう姿勢の伸長	○昨年度に比較して、早めに学力調査等の分析を行い、小中の課題を共有し、取り組みを考え実施することができた。 ○諸学力検査の分析を全職員で行うことができた。 ●学びの確認・見届けの徹底については課題が残る。	2.9	3.1	○はげまし隊支援では、わからない問題を個別に教えられていました。 ★見届けの徹底についての課題について基本的な内容が知りたい。 ○学年によって授業を受ける態度に差が大きい様な気がする。 ○学力向上に向けて調査の分析や課題共有など学校全体で取り組みが進められていることがすばらしい。 ◎今後は授業における振り返りや個別の支援の充実を図り、学びの定着を確実にする取り組みを継続してほしい。
	2 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学習の推進） ・教科横断的な教育課程編成（言語能力） ・問題解決的学習・体験的学習の充実・協働的な学び（言語活動）の充実 ・校内ICT活用の推進	○主題研を通して、主体的・対話的な学習を進めることができた。 ●まだ話し合い活動には課題が残る。 ○ICTに関してはどの学年でもよく活用し日常化している。 ○主題研の取り組みにより、学校全体が活性化できたのではないかと思う。	3	3	★ICT活用は、何年生から始まるのでしょうか？全学年ですか？ ○ICT活用はよくできていると思います。
	3 指導力の向上 ・PDCAサイクルの校内研究推進 ・相互授業参観 ・4つのチェックポイント・ひなたの学びによる授業改善	○相互授業参観週間や学校訪問を通して、ひなたの学びによる授業改善につなげることができた。 ○小中学校の授業を参観することで、学習のつながりを知ることができた。	2.9	2.8	○すごくいい取り組みだと思います。 ○職員間の連携を深めると良いと思う。 ●ひなたの学びについては少し難易度が高いと思いました。清流祭での流域治水の発表がそう思いました。
	4 学習基盤の整備 ・家庭学習の充実 ・読書活動の充実	○曜日ごとに図書館の割り当てをすることで各学年読書活動によく取り組んでいた。 ●家庭での学習状況については各家庭で差が見られる。また、宿題量や宅習の実施等、各教科や学年でばらつきが見られる。 ●他の学校では宿題を課さない方針の学校がある中、何をもちって家庭学習の充実というのか曖昧である。 ●読書活動の充実に対する手立てが必要だと感じる。読解力の育成も含めて。	2.2	2.4	◎読書活動については、動画を見るが多くなり、少なくなったと思う。強制的にでも読む時間を設けてもいいと思う。 ・宿題量や学習の実施等各教科や学年でばらつきが見られるとはどういう事でしょうか？学力低下につながるのではないかと。 ○放課後子ども教室では宿題に取り組んでいる。辞書を引いている姿もみかけるようになった。 ●お友達の答えを写している児童も数名いる。 ●本に興味を示さないの、図書館から読み聞かせに来てもらったが、すぐに飽きて騒がしくなった。 △各家庭の差というよりこれは本人各個人の取り組み考えのちがいで難しい課題。 △読書に関しても現在スマホやゲーム等で本を読む子ども達が少なくなってきているのではと感じる。 ○読解力はすべての教科の学力向上に重要なので読書の大切さを教えてほしい。 ★図書室での新刊や各学年向きの本の紹介の機会はあるのでしょうか？私は是非しろばんばや銀の匙を読んでほしいです。各先生方のおすすめの本もいいですね。 ○読書活動への取り組みや学習習慣の定着に向けた工夫が見られる。 ◎読書で得られる効果（読書力、知識の習得、想像力など）をもっと知らせてみてはどうか？電子書籍でもいいのか？

心の教育の充実	1 人間関係の基盤づくり ・学級経営の充実 ・組織的ないじめ対応 ・チーム学校による生徒指導体制整備 ・旅行集団宿泊的行事の充実	○トラブルに対して、全員で解決に向かって動く姿が多く見られた。 ○日頃から、こまめな情報交換がされていたことも効果的だった。 ○周囲の職員の助言を聞いたり、連携したりしながら学級経営や生徒指導にあたることができた。	3	3	
	2 いのちを大切にす教育の推進 ・人権教育 ・道徳教育 ・特別支援教育 ・SOS教育の充実 ・校内環境の整備	○本年度も校内環境の整備がされ、児童にとっても職員にとっても過ごしやすい学校になった。 ○修学旅行の平和学習をとおして、いのちを大切にす教育の推進が図られた。 ○「市社会科人権同和教育研修」が本校で行われ、職員研修・社会科公開授業を通して人権教育に関する意識向上が図られた。	3.1	3.1	●なかよしクラブではケンカして「もう死ぬ」「死ぬ」などの言葉を聞きました。包丁を持ってくると探しに行った児童もいたので、包丁をもらったらどうなるのか話しました。 ○今後も平和学習、命を大切にす教育は大事だと思うので今後も継続して取り組んで欲しい。 ◎今後も子どもたちが学習しやすい環境づくりをお願いしたい。
	3 社会性の涵養 ・あいさつ指導の徹底 ・ルールメイキング活動の推進 ・体験学習の充実・儀式的・文化的行事の充実	●本年度いろいろな体験活動が行われたが、自分から進んで大きな声であいさつができる状態ではまだない。 ○昨年度よりも学校全体として体験活動が充実した。	2.9	2.7	○大きな声であいさつする、またはされることは気持ちが良いものです。さらなる指導をお願いしたい。 ○昨年度より体験活動が充実していたと思う。 ○中学生は学校内外でもあいさつができています。 ●5・6年生のあいさつは進んであいさつができているとは言えない。 ●自分から進んであいさつができない児童・生徒が見られる。引き続き指導をお願いしたい。 △登下校のあいさつは、できる子とできない子がはっきりしているように感じる。学校での指導だけでなく、家庭において日常的に身につけることが必要と思う。 ●必ずあいさつをしてくれる子と、しない子がはっきりと分かれる。 ○気持ちのよい挨拶ができる児童・生徒が多い印象がある。 ○学校での挨拶をみてはいませんが、隣近所の小中学生の皆さんよく挨拶はできます。 ○古く昔から山間部の児童は大きな声で挨拶が定評であり自慢だったが今の状況は少しがっかりする。挨拶は社会教育・人間としての基本であると考えます。今後も自主的な挨拶指導をお願いしたい。 ○4月に比べるときちんと挨拶できる生徒が多くなったと思う。
	4 自己指導能力の育成 ・生徒指導の3機能を活かしたスクールワイドPBSの推進 ・児童会生徒会活動の活性化 ・Q Uの分析・活用 ・勤労生産奉仕的行事の充実	○生徒の良い面、良い活動等は積極的に帰りの会等で取り上げて学級全体に周知するなどした。 ○(小)「廊下歩行」など小学校全体の課題を小学校の職員全員で明確化することができた。 ○(中)ボランティア活動にたくさんの生徒が参加し、地域貢献につながった。 ○生徒会活動では生徒中心に積極的に活動できた。 ●校則検討委員会の話し合いを計画的に進めることが難しかった。 ●(小)校舎の工事のため、花いっぱい活動は3学期実施した。 ○(中)生徒会を通して地域のボランティア活動に参加した。	2.8	3.1	○地域のボランティア活動に参加していました(中学生) ○干支フェスでのボランティア活動は積極的に取り組んでいてすばらしかった。 ○地域のボランティア活動がすごくいい取り組みだと思う。地域貢献もだが地域とのつながりも大切だと思う。 ○生徒のみなさんがボランティア活動されている姿を、目にする機会が増えた。とてもうれしい。みなさん生き生きされています。

健康・安全・体力の向上	<p>1 望ましい生活習慣の醸成 ・生活習慣（生活リズムや衛生習慣）に関する指導立腰指導の徹底 ・感染症・熱中症対応の徹底 ・性教育の推進 ・学校保健委員会の充実</p>	<p>○感染症・熱中症対策は委員会と連携して徹底することができた。 ○性教育・学校保健委員会も関係者と連携しながら計画的に行うことができた。 ○学習規律の指導とともに立腰指導ができた。 ○養護教諭のリーダーシップのもと各項目について活性化することができた。 ●生活習慣に関しては、各家庭の生活スタイルが異なるため介入しづらいところもある。 ○学校保健委員会への保護者の参加率がここ5年間で一番よかった。</p>	3.2	3.4	<p>★性教育について低学年はTVで見たことをまねしたりするのでどのように対応していいか困る。 ○感染症が流行した時に対応が速かったので広がらずにすんだ。 ○いろいろな取り組みについて学校保健委員会と関係者の連絡も計画的にでき保護者の参加率も良い点は評価できる取り組みだと思う。 ○学校訪問の際、眠そうな生徒が見られた。 ◎清流祭がとても暑かったように思う。異常気象と言われるほどに暑さが厳しくなっていることを考慮し、大きな行事の時期等に関しては、見直しや検討が必要なのではないかと感じた。 ○学校保健委員会の参加者が多かったのは良かった。</p>
	<p>2 安全教育の推進 ・安全点検・危機管理体制の見直しと徹底 ・避難訓練、防災学習の推進 ・登下校の交通安全指導の徹底</p>	<p>○危機管理体制を見直し、シミュレーション研修を実施。アクションカードの整備を行い、職員全員で緊急対応について考えた。 ○登下校通路の危険箇所について、PTAや近隣住民から通報があったとき迅速に対応ができた。</p>	3.3	3.4	<p>○登下校時の見守り隊員も2名増え安全に登校できている。 ○危機管理体制、緊急対応は非常に大事な事だと思う。登下校の通路の危険箇所についても大事で迅速な対応ができた事は評価できる。 ○通学路点検が毎年きちんと実施されている。 ●地区懇談会をなくして、登下校路の確認を学校側にさせていただいたと思うが、保護者にその結果が周知されてなかったように思う。</p>
	<p>3 体力や運動能力の向上 ・スクールスポーツプランによる意図的体力向上 ・保健安全体育的行事の充実、部活動の見直し +B17:017A23B17:J17B17:018B17:019A23B17:J17B17:021</p>	<p>●スクールスポーツプランをどの程度活用しているか見えてこない。体育主任が作成したプランを職員に今後も浸透させていくことが必要。 ○中学校の雰囲気を味わいながらの体育大会は、小学生にとって良い刺激になる場面もあった。 ○体育主任から体力向上のための資料が出され活用している。</p>	2.8	3.3	<p>○能力に応じて、学年にこだわらず遊んでいる中で刺激になっている。上級生と遊ぶことが能力向上につながっていると感じる。 ★歩行によって体力（脚力）の向上が期待できると思うが、児童生徒のスクールバス通学・自家用車通学により、体力が低下していることはないか。 ○小学校中学校合同の体育大会、先輩後輩を交え子ども達にはスポーツを通じ大きな成長につながると思う。 ○体育大会では、学年関係なくみんなで協力し合ったり、小中合同だからこそ生まれるものがあると思う。 ●もう少し走り方を学ぶ等専門的な運動能力の向上を目指しても良いのではないか。</p>
	<p>4 食育の推進 ・教科横断的な食育推進 ・給食指導の充実 ・給食検討委員会の充実</p>	<p>○小中学校の委員会活動を通して、全児童生徒へ食事のマナーについて意識させる活動を実施した。 ○時間の経過とともにマナーに気をつけようとする意識は薄れつつある。活動後は栄養教諭側からの声掛けを継続していく必要があると感じた。 ○小中合同での給食委員会による指導の取り組みが良かったです。</p>	3.1	3.5	

<p>1 キャリア教育の充実 ・「流域治水」をテーマとした探究活動の推進 ・進路指導の充実 ・SDGsの意識向上</p>	<p>○総合の年間計画が見直され、計画的に取り組むことができた。</p>	<p>3.1</p>	<p>3.4</p>	<p>○文化祭を利用して取り組んでいるので楽しく学んでいると思う。 ○今回の「流域治水」をテーマとした研究活動の取り組みは素晴らしいと思いました。キャリア教育は素晴らしい取り組みだと思うので今後も積極的に取り組んでほしい。 ○清流祭での治水に関する発表は素晴らしいかった。 ○「流域治水」をテーマにしたプレゼンテーションや劇は、これまで学んでいたせいか十分に発揮されており、私自身も勉強になったし、この地域においても大事なことだと思った。</p>
<p>2 地域・関係機関との連携・協働 ・学校運営協議会・地域学校協働活動を柱とした地域連携の強化 ・HPの充実 ・積極的広報 ・学校評価の活用</p>	<p>○地域コーディネーターのおかげで、地域での活動がスムーズに行えた。 ○HPの更新は声かけ・確認をしていくことでさらに充実させる。 ●通信（学校だよりや保健だより等）もHPに載せることで、保護者の目に届く機会を増やすことができていると思う。一部が定期的に掲載できている。次年度の利用を検討したい。</p>	<p>2.9</p>	<p>3.2</p>	<p>○地域の団体などにも協力していただけて、活動者も増えていると思う。 ○地域の方が協力的で心よくうけてくれるので、スムーズに連携がとれる。 ○HPについてはもっと宣伝周知してもいいのではと思う。 ○コーディネーターと学校の連携がスムーズにできていた。 ○地域のことを知る活動が多く取り入れられていた。（知ることで地域の良さに気づき、自分が生まれ育った北方を愛するふるさとを思う心が育まれたらうれしい。卒業後もこの気持ちが心の片隅にあれば、頑張る原動力につながるのではないかと思うし、できれば北方に残って欲しい。そのためにいいふるさとを残していきたいと思う）※ただの思いですが・・・</p>
<p>3 教職員の資質向上 ・教職員評価・新しい研修制度の活用 ・校内OJTの推進 ・メンター方式による学校の課題解決 ・コンプライアンスの推進（危機管理体制の整備）</p>	<p>○校内研修（ちょこっと研修含む）が充実していた。 ○教職員評価のミーティングでも、具体的な目標や達成度について触れ、意識向上に繋がった。 ○教職員間の関係が風通しがよく、チームで動いていると感じる。</p>	<p>3.2</p>	<p>3.5</p>	<p>○教職員の関係が良いと感じる。 ○校内研修も充実しておりその中でも教職員間の関係の風通しがいいという所がすばらしく子ども達の教育にもつながり、機運にもつながると思う。</p>
<p>4 学校の組織力向上 ・小中連携・協働の推進 ・研修や会議の精選・充実、 ・働き方改革の推進 ・PDCAサイクルによる学校改善システムの定着 ・報連相の徹底</p>	<p>○研修・会議の内容が精選されて、前年度より余裕が生まれた。 ○研修や会議が充実しており、職員の共通理解が図られたもとで組織的に動いていた。</p>	<p>3.2</p>	<p>3.3</p>	<p>○小中たすけ合いながら活動している様子があります。 ○コメントを読んですごくいい取り組みができたんだと強く感じる。 ○個人的には（どうやったらここまで職員間の共通理解が深められるのか知りたい！！）例えば、会議・職員間のアプリの活用、口頭での伝達などその他どのようなことをされているのでしょうか？</p>
<p>次年度の方向性について ※学校関係者評価を令和8年度の学校経営ビジョンに反映させていく。 ※以下の点については重点的に取り組む。 （1）学習基盤の整備（家庭学習・読書活動の充実） （2）協働的な学び（言語活動） （3）社会性の涵養（あいさつ指導） （4）体験的活動を取り入れた学習の充実を継続する。</p>				